

2008年8月期業績 及び2009年8月期業績見通し

吉高 信

株式会社ファーストリテイリング

執行役員 CFO

1

執行役員CFOの吉高です。

私からは、2008年8月期業績、及び
2009年8月期業績見通しについてご説明をします。

I. 2008年8月期決算概要	P3	~	P15
II. 2009年8月期業績予想	P16	~	P23
III. ご参考資料	P24	~	P26

【資料文中のグループ事業の表示について】

各グループ事業の構成は、以下のとおりです。

国内ユニクロ事業：株式会社ユニクロの数値が表示されています。

海外ユニクロ事業：英国、米国、中国、香港、韓国、フランスにおけるユニクロ事業が含まれています。

国内関連事業：国内を中心に展開しているアパレル小売事業(ユニクロ事業除く)のことです。ジーユー、ワンゾーン、キャビン、ビューカンパニー(2008年8月期上期は持分法適用関連会社、下期は連結子会社) アスベジ・ジャパン(2008年8月期第4四半期より連結除外)が含まれています。

グローバルブランド事業：グローバルに展開中、もしくは展開する可能性のあるブランド事業(ユニクロ事業除く)のことです。FRフランス(コントワー・デ・コトニエ事業、プリンセス・タム・タム事業など)、持分法適用関連会社であるリンク・セオリー・ホールディングスが含まれています。

【連結】 2008年8月期 実績

売上高 : 5,864億円 (前年同期比 +11.7%)
営業利益 : 874億円 (前年同期比 +34.7%)
経常利益 : 856億円 (前年同期比 +32.7%)

	2007年8月期 通期実績	直近予想 (4/10修正)	2008年8月期		
			通期実績	前期比	直近予想比
売上高 (売上比)	5,252 100.0%	5,855 100.0%	5,864 100.0%	+ 11.7%	+ 0.1%
売上総利益 (売上比)	2,483 47.3%	2,871 49.0%	2,936 50.1%	+ 18.2% + 2.8p	+ 2.3%
販管費 (売上比)	1,834 34.9%	2,070 35.4%	2,061 35.2%	+ 12.4% + 0.3p	0.4%
営業利益 (売上比)	649 12.4%	801 13.7%	874 14.9%	+ 34.7% + 2.5p	+ 9.2%
経常利益 (売上比)	646 12.3%	791 13.5%	856 14.6%	+ 32.7% + 2.3p	+ 8.3%
特別損益 (売上比)	18 0.3%	34 0.6%	37 0.6%	+ 95.9% 0.3p	+ 8.9%
当期純利益 (売上比)	317 6.1%	410 7.0%	435 7.4%	+ 37.0% + 1.3p	+ 6.0%

単位: 億円

3

(注) 2008年8月期通期 実績: 設備投資額 210億円、減価償却費 85億円

まず、2008年8月期の連結業績についてご説明します。

通期では売上高は5,864億円、前期比11.7%増、
 営業利益は874億円、前期比34.7%増、
 経常利益は856億円、前期比32.7%増と
 増収増益を達成致しました。

次のスライドでその要因をご説明します。

【連結】 増収増益の要因

売上高 5,864億円 (前期比 +11.7%)

国内ユニクロ事業 +376億円
 海外ユニクロ事業 +123億円 グローバルブランド事業 +70億円
 連結子会社増加 +46億円(ビューカンパニー)

売上高総利益率 50.1% (前期比 +2.8p)

国内ユニクロ事業の売上高総利益率の改善 +3.1p

売上高販管費率 35.2% (前期比+0.3p)

販管費比率の比較的高い子会社の構成比上昇
 連結子会社増加 +22億円(ビューカンパニー)
 のれん償却 +10億円

営業利益率 14.9% (前期比+2.5p)

経常利益率 14.6% (前期比+2.3p)

4

売上高は5,864億円、前期比612億円増、11.7%の増収でした。増収の主な要因は、国内ユニクロ事業が376億円の増収になったこと、海外ユニクロ事業の増収123億円、グローバルブランド事業の増収70億円に加え、下期から連結を開始したビューカンパニーの寄与が46億円あったことによるものです。

売上高総利益率は2.8ポイント改善いたしました。国内ユニクロ事業において粗利益率が3.1ポイント上昇したことが改善の主な理由です。

販管費は、前期比で227億円増え、売上高販管費比率も0.3ポイント上昇しております。主な要因としては、販管費比率の比較的高い子会社の構成比が高まったこと、下期からビューカンパニーを連結対象とした影響、また、ビューカンパニーを完全子会社化した際にのれんを一括償却した影響などです。

なお、のれん償却は53億円と、前期比で10億円増加しております。

これらの結果、売上高営業利益率は14.9%と前期比で2.5ポイント改善いたしました。

なお、営業外損益ですが、前年はネットで3億円の営業外費用でしたが、今期はネットで17億円の営業外費用となりました。これは、前期比で為替が円高で推移したことの影響などから、前期は18億円の為替差益を計上していたものが、当期は20億円の為替差損に転じたことなどによるものです。



2008年8月期 グループ事業別実績

単位: 億円

		2007年8月期		2008年8月期		
		通期実績	直近予想 (4/10修正)	通期実績	前期比	
					前期比	直近予想比
国内ユニクロ事業	売上高	4,247	4,592	4,623	+ 8.9%	+ 0.7%
	営業損益	640	792	864	+ 35.0%	+ 9.0%
	(売上比)	15.1%	17.3%	18.7%	+ 3.6p	+ 1.4p
海外ユニクロ事業	売上高	169	300	293	+ 72.6%	2.2%
	営業損益	11	4	3	-	-
	(売上比)	-	-	1.2%	-	-
国内関連事業	売上高	460	508	494	+ 7.4%	2.7%
	営業損益	35	27	28	-	-
	(売上比)	-	-	-	-	-
グローバルブランド事業	売上高	367	430	437	+ 19.1%	+ 1.7%
	営業損益	72	74	77	+ 7.7%	+ 4.3%
	(売上比)	19.6%	17.3%	17.7%	1.9p	+ 0.4p

プティ ヴィクル社については、決算期を変更したため、14ヶ月分の経営成績(07/07 ~ 08/08)を連結しています。

適用為替レート

2008年8月期 1USD=108.31円 1EUR=163.07円 1GBP=215.63円

2007年8月期 1USD=116.07円 1EUR=158.55円 1GBP=233.67円

のれん償却額 2008年8月期 53億円(通期)

5

こちらのスライドでは、各グループ事業別の売上高、営業利益を示しております。まず、国内ユニクロ事業ですが、売上高は8.9%増となり、営業利益は35.0%増となりました。

海外ユニクロ事業の売上高は293億円、72.6%増、営業利益3億円となり、海外ユニクロ事業全体として通期で初めて黒字を達成致しました。

国内関連事業にはキャビン、ジーユー、ワンゾーン、ビューカンパニーの業績数値が含まれております。

キャビンは減収ではありましたが、若干の営業黒字を達成しております。国内関連事業全体としては、前年に比べ赤字幅を縮小させることができました。

なお、すでにお伝えしているとおり、ジーユー、ワンゾーン、ビューカンパニーの3社につきましては、9月1日に事業統合を実施し、GOVリテイリングとして事業運営を開始しております。

グローバルブランド事業には、コントワー・デ・コトニエ事業、プリンセス タム・タム事業などが含まれております。

欧州での景気減速の影響を受け、グローバルブランド事業全体の成長スピードは減速しております。

売上高総利益率が計画を上回り、大幅増益達成

単位：億円

	2007年8月期		2008年8月期		
	通期実績	直近予想 (4/10修正)	通期実績	前期比	直近予想比
売上高 (売上比)	4,247 100.0%	4,592 100.0%	4,623 100.0%	+ 8.9%	+ 0.7%
売上総利益 (売上比)	1,926 45.4%	2,166 47.2%	2,241 48.5%	+ 16.3% (+ 3.1p)	+ 3.4% (+ 1.3p)
販管費 (売上比)	1,286 30.3%	1,374 29.9%	1,376 29.8%	+ 7.0% (- 0.5p)	+ 0.2% (- 0.1p)
営業利益 (売上比)	640 15.1%	792 17.3%	864 18.7%	+ 35.0% (+ 3.6p)	+ 9.0% (+ 1.4p)

6

次に、国内ユニクロ事業の実績について、詳しくご説明いたします。

2008年8月期の国内ユニクロ事業の売上高は4,623億円、前期比8.9%増、営業利益は864億円、前期比35.0%増の増収増益を達成致しました。

上期の売上高は、ヒートテックをはじめとする冬物販売が好調に推移したことで、計画を若干上回りました。

下期も、春夏のシーズンの立ち上がりを早め、値引きのコントロールを実施した結果、売上高総利益率は計画を大幅に上回りました。

その結果、通期の営業利益は前期比35.0%増の大幅増益となり、計画に対しても9%上回りました。

項目ごとの説明は次のスライドでさせていただきます。

08/8期 売上高 4,623億円 (前期比 +8.9%)

- ユニクロ直営店 前年同期比10店舗増 (2008年8月末740店舗)
- 既存店売上高 前期比 +2.9% (07/8期実績比 +1.4%)
 客数 前期比 +0.8% 販促活動が奏功
 客単価 前期比 +2.1% 値引き額の減少、一品単価の高い商品が好調

前年比増減率		2008年8月期			2008年 9月
		上期	下期	通期	
既存店計	売上高	+1.5%	+4.8%	+2.9%	+20.8%
	客数	0.9%	+2.9%	+0.8%	+10.4%
	客単価	+2.5%	+1.9%	+2.1%	+9.5%

FC店 19店舗を除く

まず、売上高ですが、通期で8.9%の増収となりました。
 増収の要因は、直営の店舗数が前期比で10店舗増加したこと、
 既存店売上高が前期比で2.9%増加したことによります。

既存店売上高2.9%増収の内訳としては、客数が0.8%増、
 客単価が2.1%の増となっております。

出退店は、大型店22店舗を含む56店舗の出店、46店舗の閉店により10店舗の純増となり、
 期末の直営店舗数は740店舗となっております。

客数の増加は、キャンペーンをはじめとした販促活動が成功したこと、
 ヒートテック、プラトップなどのヒット商品が寄与したものです。

客単価は前期比で2.1%上昇しておりますが、この理由としては通年で値引きを削減したこと、
 相対的に単価の高い商品が好調だったこと、などによるものです。



【国内ユニクロ事業】売上高総利益率

08/8期 売上高総利益率 48.5% (前期比 +3.1p)

値引販売のコントロール強化

「利益を最大化させる」ことに集中

店舗の意見を反映させた生産数量、値引・限定販売のコントロール

計画通りに販売が進み在庫処分が少なかった

各シーズンの早めの立ち上がり

	2007年8月期	2008年8月期	前期比
通期	45.4%	48.5%	+ 3.1p
上期	44.5%	47.6%	+ 3.1p
下期	46.4%	49.5%	+ 3.1p

8

次に売上高総利益率ですが、前期比で3.1ポイント改善しました。

上期は、秋物処分が一時的に粗利益率に影響を与えたものの、きめ細かく売価変更を実施したこと、ヒートテックインナーが大ブレイクしたことなどが寄与し、売上高総利益率が改善いたしました。

下期は、マーチャンダイザー、営業、経営それぞれが「利益を最大化させる」ことに集中したこと、店舗の意見を反映させた生産数量の決定や、値引き、限定販売のコントロールを継続した効果により、粗利益率を改善することができました。

計画通りに販売が進み、在庫処分が少なかったことも、粗利益率改善に寄与しております。

特に第4四半期では、秋物商売が好調に立ち上がったことで、前期比で大幅な改善となりました。

08/8期 売上高販管費率 29.8% (前期比 0.5p)

人件費率 0.5ポイント: 店舗での労働時間減少、求人費の減少

広告宣伝費率 0.4ポイント: 電波料減少(キャンペーン減)

賃借料率 +0.3ポイント: SC、都心ビルイン型店舗出店に伴う家賃比率増

単位: 億円

	2007年8月期		2008年8月期		増減額	
	実績	(売上比)	実績	(売上比)		(売上比)
販管費	1,286	30.3%	1,376	29.8%	+90	0.5p
内 人件費	478	11.3%	498	10.8%	+20	0.5p
内 広告宣伝費	210	5.0%	213	4.6%	+2	0.4p
内 賃借料	320	7.6%	366	7.9%	+45	+0.3p
内 減価償却費	21	0.5%	26	0.6%	+4	+0.1p
内 その他	254	6.0%	272	5.9%	+18	0.1p

9

国内ユニクロ事業の販管費は1,376億円、前期比で90億円増とほぼ計画通りの水準で、売上高販管費比率では前年に比べて0.5ポイント改善いたしました。

売上高に対する人件費比率は、0.5ポイント減となりました。

これは主に、店舗での作業効率改善により、労働時間が減少したことによるものです。また、地域限定正社員の登用により、スタッフの採用・育成活動に要する時間が短縮され、求人費も減少しました。

また、売上高広告宣伝費比率も0.4ポイント低下しております。

これは、昨年と比べてキャンペーンが減少し、テレビCMが減ったことにより電波料が減少したことなどによります。

賃借料率は0.3ポイント上昇しています。

これは、ショッピングセンター、都心ビル型店舗の出店が増えた影響によります。

海外ユニクロ事業として初めて営業黒字達成

アジア (店舗数 07/8月末 27店舗 08/8月末 39店舗)

中国・香港 売上および利益とも計画を上回り順調に業績拡大

韓国 明洞店(大型店)好調、売上は倍増、採算性も改善

欧米 (店舗数 07/8月末 12店舗 08/8月末 15店舗)

米国 グローバル旗艦店の採算改善、ほぼブレイクイーブン

英国 グローバル旗艦店オープンコスト、売上未達により

営業赤字継続

単位: 億円

		2007年8月期		2008年8月期		
		通期実績	直近予想 (4/10修正)	通期実績	前期比	
					前期比	直近予想比
海外ユニクロ事業	売上高	169	300	293	+ 72.6%	2.2%
	営業損益 (売上比)	11	4	3	-	-
		-	-	1.2%	-	-

10

次に海外ユニクロ事業ですが、売上高は169億円から293億円と7割増収となり、海外ユニクロ事業として、通期で初めて営業黒字を達成することができました。

営業利益の改善幅としては14億円でした。

この要因としては、中国・香港・韓国といったアジア地区での売上、利益が計画を上回り、順調に業績を拡大したこと、米国ユニクロでは、グローバル旗艦店の大幅な採算改善により、ほぼブレイクイーブンとなったことによるものです。

英国では、グローバル旗艦店のオープンコストや、売上未達が続いていることなどから営業赤字が継続しております。

キャビンは黒字化、3社は統合により経営改革

- キャビン 経営改革を推進、営業黒字を達成
- ジーユー ほぼ計画通りで推移
- ワンゾーン 自社企画商品増加、店舗のスクラップで赤字幅削減
- ビューカンパニー 下期より連結子会社化、売上未達続く

単位：億円

		2007年8月期		2008年8月期		
		通期実績	直近予想 (4/10修正)	通期実績	前期比	
					前期比	直近予想比
国内関連事業	売上高	460	508	494	+ 7.4%	2.7%
	営業損益	35	27	28	-	-
	(売上比)	-	-	-	-	-

ビューカンパニーは、2008年8月期上期は持分法適用関連会社、下期では連結子会社となっています。

11

次に国内関連事業ですが、ほぼ計画通り営業赤字は28億円と、前年に比べ縮小いたしました。

キャビンはコスト削減効果や、粗利益率改善により、若干ですが営業黒字を達成することができました。

ジーユーはほぼ計画通りに業績が推移しました。

ワンゾーンでは、自社企画商品の拡大や不採算店のスクラップにより、採算を改善しております。同じ靴事業のビューカンパニーの業績は計画未達となっております。



【グローバルブランド事業】2008年8月期実績

欧州景気悪化の影響により、業績は調整局面に

コントワー・デ・コトニエ事業：売上未達により減益

プリンセス タム・タム事業：売上は計画未達もほぼ計画通りの利益達成

単位：億円

		2007年8月期		2008年8月期		
		通期実績	直近予想 (4/10修正)	通期実績	前期比	直近予想比
グローバルブランド事業	売上高	367	430	437	+ 19.1%	+ 1.7%
	営業損益	72	74	77	+ 7.7%	+ 4.3%
	(売上比)	19.6%	17.3%	17.7%	1.9p	+ 0.4p

- 1 グローバルブランド事業の売上高、営業利益には、FRフランス(コントワー・デ・コトニエ事業、プリンセス タム・タム事業など)の数値が含まれています。
- 2 持分法適用関連会社であるリンク・セオリー・ホールディングスについては、営業外損益として、12 '持分法による投資損益(07/9～08/8)：2.3億円を計上しています。

グローバルブランド事業は欧州の景気悪化の影響により、業績は調整局面にあります。

コントワー・デ・コトニエ事業は、欧州や日本における店舗数が増えたことから通期で9%増収を達成しましたが、計画未達により減益となっております。

プリンセス タム・タム事業の売上は若干の未達となりましたが、ほぼ計画通りの利益を達成いたしました。

なお、プリンセス タム・タム事業を運営するプティ・ヴィクル社が決算期を変更したことに伴い、当期では14か月分の業績を連結しております。

特別利益 + 10億円

再生債務免除益	+ 3億円
貸倒引当金戻入益	+ 2億円

特別損失 47億円

構造改革費用 (キャビン、ワンゾーン、ビューカンパニー等)	12億円
店舗閉店損失 (ワンゾーン、国内ユニクロ、ユニクロUK等)	12億円
固定資産除却損 (国内ユニクロ、キャビン等)	10億円
減損損失 (ワンゾーン、キャビン等)	8億円

2008年8月期の特別損益については、
特別利益10億円、特別損失47億円を計上しています。

特別利益の内訳は、再生債務免除益3億円、貸倒引当金戻入益2億円などです。

特別損失の内訳は、キャビンやワンゾーン、ビューカンパニーなど
において実施した構造改革に伴う費用が12億円、
ワンゾーン、国内ユニクロ、ユニクロUKなどの閉店に伴う
店舗閉店損失が12億円、
国内ユニクロ、キャビンなどで実施した固定資産除却損10億円。
ワンゾーン、キャビンなどで計上した減損損失で8億円です。

なお、ジーユー、ワンゾーン、ビューカンパニーの3社統合に関わる特別損失は、予定通り
合計で18億円でした。

単位：億円

	2007年8月末	2008年8月末	増 減
総資産	3,597	4,047	+449
流動資産	2,179	2,636	+457
固定資産	1,417	1,410	7
負債	1,164	1,407	+242
純資産	2,432	2,640	+207

14

次に連結のバランスシートのご説明をさせていただきます。

2007年8月末との比較では、
流動資産が457億円増加し、固定資産が7億円減少した結果、
全体の総資産は449億円増加して4,047億円となりました。

詳細については、次のスライドでご説明いたします。

【連結】B/Sのポイント (2007年8月末比較)

現金・預金及び有価証券の増加 +508億円 (1,193億円 1,701億円)

- 【国内ユニクロ事業】 営業キャッシュフローの増加など

たな卸資産の減少 13億円 (551億円 537億円)

【国内ユニクロ事業】 36億円 【海外ユニクロ事業】 +12億円

(参考)国内ユニクロ事業 8月末たな卸資産残高 362億円

増減の内訳:冬物在庫: 30億円 夏物在庫: 10億円 新店増加: +10億円

有形固定資産の増加 +29億円 (373億円 403億円)

【国内ユニクロ事業】 店舗増など +13億円 【FR】 商業施設事業など +12億円

為替予約勘定(資産)の減少 109億円 (175億円 66億円)

【国内ユニクロ事業】 円高の進行に伴うもの。損益への影響は無し

まず、流動資産ですが、現預金及び有価証券の合計額は、前期末比で508億円増加いたしました。これは、国内ユニクロ事業の営業キャッシュフローの増加によるものです。

たな卸資産は、前期末比では13億円減少しております。

国内ユニクロ事業の8月期末の在庫は362億円と、前期末比36億円減少しております。内訳として、冬物在庫が約30億円、夏物在庫が10億円減少していること、新店の増加により店頭在庫が10億円増加していることなどによるものです。

一方、海外ユニクロ事業のたな卸資産は新規出店により12億円増加しています。

有形固定資産は、前期末比で29億円増加しております。

国内ユニクロで出店に伴い13億円増加したほか、持ち株会社においては商業施設事業への投資などにより12億円増加しております。

為替予約勘定が前期末比109億円減少しておりますが、これは円高の進行に伴うもので、ヘッジ会計を適用していることから損益への影響はございません。

【連結】 2009年8月期 業績予想

単位: 億円

	2008年8月期 通期実績	2009年8月期 通期予想	
			前期比
売上高 (売上比)	5,864 100.0%	6,200 100.0%	+ 5.7%
売上総利益 (売上比)	2,936 50.1%	3,100 50.0%	+ 5.6% 0.1 p
販管費 (売上比)	2,061 35.2%	2,170 35.0%	+ 5.2% 0.2 p
営業利益 (売上比)	874 14.9%	930 15.0%	+ 6.3% + 0.1 p
経常利益 (売上比)	856 14.6%	930 15.0%	+ 8.5% + 0.4 p
当期純利益 (売上比)	435 7.4%	480 7.7%	+ 10.3% + 0.3 p

(注) 2009年8月期通期 予想: 設備投資額 180億円、減価償却費 100億円

16

ここからは、2009年8月期の業績予想についてご説明します。
 売上高は6,200億円、前期比5.7%増、
 営業利益は930億円、前期比6.3%増、
 経常利益は930億円、前期比8.5%増、
 当期純利益は480億円、前期比10.3%増を予想しております。

単位：億円

		2008年8月期	2009年8月期	
		通期実績	通期予想	前期比
国内ユニクロ事業	売上高	4,623	4,820	+ 4.3%
	営業損益	864	900	+ 4.2%
	(売上比)	18.7%	18.7%	+ 0.0p
海外ユニクロ事業	売上高	293	410	+ 39.7%
	営業損益	3	10	+ 177.8%
	(売上比)	1.2%	2.4%	-
国内関連事業	売上高	494	500	+ 1.0%
	営業損益	28	10	-
	(売上比)	-	-	-
グローバルブランド事業	売上高	437	440	+ 0.6%
	営業損益	77	70	9.8%
	(売上比)	17.7%	15.9%	1.8p

のれん償却費 47億円(通期)

17

次に、グループ事業別の業績予想についてお話しします。

国内ユニクロ事業は増収増益の計画です。

海外ユニクロ事業ではアジア地域での出店拡大が進むことから、約4割の増収を見込み、黒字幅も拡大することを予想しております。

国内関連事業では、キャビン、GOVリテイリングの収益改善を図り、赤字幅を10億円程度まで縮小することを見込んでおります。

グローバルブランド事業では、若干の増収と、減益を予想しています。

なお、のれんの償却は、47億円と、昨年に比べて6億円減少する予定です。



【国内ユニクロ事業】業績予想の前提

	2008年8月期			2009年8月期			前期比		
	実績			予想					
売上高	4,623 億円			4,820 億円			+4.3%		
既存店伸び率									
通期	+ 2.9%			+ 1.4%			1.5p		
上期	+ 1.5%			+ 1.8%			+ 0.3p		
下期	+ 4.8%			+ 1.0%			3.8p		
売上高総利益率									
通期	48.5%			48.0%			0.5p		
上期	47.6%			47.6%			+ 0.0p		
下期	49.5%			48.5%			1.0p		
出退店数(直営店)	出店	退店	純増	出店	退店	純増	出店	退店	純増
通期	56	46	+10	54	35	+19	2	11	+9
大型店	22	0	+22	24	0	+24	+2	0	+2
標準店等	32	46	14	30	35	5	2	-11	+9
専門店	2	0	+2	0	0	+0	2	0	2
上期	33	25	+8	25	19	+6	8	6	-2
大型店	10	0	+10	11	0	+11	+1	0	1
標準店等	21	25	4	14	19	5	7	6	1
専門店	2	0	+2	0	0	+0	2	0	2
下期	23	21	+2	29	16	+13	+6	5	+11
大型店	12	0	12	13	0	+13	+1	0	+1
標準店等	11	21	10	16	16	+0	+5	5	+10
専門店	0	0	+0	0	0	+0	0	+0	+0

ユニクロ直営店出店数のうち、標準店等にエキナカ・エキチカのユニクロ小型店も含まれます。専門店には、18ウィメンズインナー専門店「BODY by UNIQLO」、キッズ専門店「ユニクロ キッズ」を含みます。

まず、国内ユニクロ事業の業績予想の前提をご説明いたします。

既存店売上高の伸び率は、上期プラス1.8%、下期プラス1.0%を、通期では1.4%のプラスを予想しております。

直営店は出店54店舗、閉店35店舗、通期で19店舗の純増を予定しております。今期の大型店は24店舗の出店を予定しております。

売上高総利益率は、上期は前年同期比横ばいの47.6%、下期は前期が49.5%と非常に高い水準であったことから、1ポイント減の48.5%を見込んでおります。

通期では48.0%と、前期に比べて0.5ポイント低下を見込んでおります。

増収増益を維持

単位：億円

	2008年8月期	2009年8月期	
	通期実績	通期予想	前期比
売上高 (売上比)	4,623 100.0%	4,820 100.0%	+ 4.3%
売上総利益 (売上比)	2,241 48.5%	2,314 48.0%	+ 3.3% (0.5p)
販管費 (売上比)	1,376 29.8%	1,413 29.3%	+ 2.6% (0.5p)
営業利益 (売上比)	864 18.6%	900 18.6%	+ 4.2% (+0.0p)

株式会社ユニクロの数値を表示しています。

19

この結果、国内ユニクロ事業の売上高は4,820億円、前期比4.3%増、営業利益は900億円、前期比4.2%増を見込んでいます。

なお、販管費につきましては、昨年に引き続きコントロールを継続し、金額では増加するものの、対売上対比では29.3%と前年に比べて0.5ポイント低下する計画です。

この内訳としましては、人件費比率が0.2ポイント低下すること、その他経費比率が0.3ポイント低下することです。

アジア地区で積極展開のステージへ

アジア (店舗数 08/8月末 39店舗 09/8月末 78店舗)

中国・香港・韓国 シンガポール
店舗数を倍増、順調に拡大の見込み
2009年春1号店をオープン

欧米 (店舗数 08/8月末 15店舗 09/8月末 15店舗)

米国 SOHOグローバル旗艦店の増収により増益を目指す

英国 グローバル旗艦店開店コスト減、年間フル稼働や、
在庫コントロールの強化により赤字幅縮小

フランス グローバル旗艦店オープンの準備

		単位: 億円		
		2008年8月期	2009年8月期	
		通期実績	通期予想	前年比
海外ユニクロ事業	売上高	293	410	+ 39.7%
	営業損益	3	10	+ 177.8%
	(売上比)	1.2%	2.4%	+ 1.2p

20

次に、海外ユニクロ事業の通期予想ですが、売上高410億円、前期比39.7%増、営業利益は10億円と増益を予想しております。

引き続き中国、香港、韓国など好調なアジア地域に積極的に出店をすることで業績を拡大させていきたいと考えております。

また、アジア地域の新規エリアとして、2009年春、シンガポールに1号店を出店する予定です。

米国ユニクロは、SOHOグローバル旗艦店の増収により、増益を目指しています。

英国ユニクロは、オックスフォードストリートのグローバル旗艦店のオープンコスト負担が今年は無いか、売上も1年間分フルに寄与することや、在庫コントロールを強化を進めることにより赤字幅を減少させる予定です。

フランスは、2009年秋のグローバル旗艦店のオープンに向けたコストが発生するため、赤字幅が拡大する予定です。

効率の改善により赤字幅縮小

キャビン 素材調達の集約によりコスト削減
GOVリテイリング バックオフィス機能の共通化による経営効率の改善、グループでの生産・仕入の共同化により赤字幅半減を目指す

単位：億円

		2008年8月期	2009年8月期	
		通期実績	通期予想	前年比
国内関連事業	売上高	494	500	+ 1.0%
	営業損益	28	10	-
	(売上比)	-	-	-

21

次に国内関連事業ですが、売上高は500億円、営業損失10億円を見込んでおります。

キャビンは前期に引き続き、今期も主力ブランドへ経営資源を集中させ、素材の調達を集約させるなどのコスト削減を行うことで、黒字幅を拡大させる予定です。

ジーユー、ワンズーン、ビューカンパニーの3社につきましては、9月1日に経営統合を実施し、GOVリテイリングとして出発いたしました。

それまで3社別々に行ってきた本部機能の共通化を進めると共に、グループでの生産・仕入の共同化をすることにより原価低減を図り、赤字幅は前期に比べて半減を目指しています。

欧州での出店を抑制

コントワー・デ・コトニエ事業

欧州の景気減速の影響で若干の増収、減益予想

プリンセス タム・タム事業

新店コスト増、新システムの導入などにより経費増

単位：億円

		2008年8月期	2009年8月期	
		通期実績	通期予想	前年比
グローバルブランド事業	売上高	437	440	+ 0.6%
	営業損益	77	70	9.8%
	(売上比)	17.7%	15.9%	1.8p

持分法適用関連会社であるリンク・セオリー・ホールディングスについては、営業外収益として、「持分法による投資利益(07/9～08/8)」0.8億円の計上を予想しています。

22

グローバルブランド事業ですが、欧州における景気減速により若干の増収および減益を見込んでおります。

コントワー・デ・コトニエ事業は若干の増収を見込んでおりますが、減益を予想しております。出店については欧州での景気悪化をふまえ、前期の48店舗から今期は21店舗まで抑制する予定です。

プリンセス・タム・タム事業は、決算期変更に伴う影響を修正すると、売上高はほぼ横ばい、若干の減益を見込んでおります。

新店コストや新システム導入に伴う経費増が減益の要因です。

【配当金】

2008年8月期 年間配当金 130円を見込
2009年8月期 年間配当金 150円を予定

	配当金額(1株当り通期)		
	中間	期末	通期
2007年8月期	70円	60円	130円
2008年8月期	65円	65円	130円
2009年8月期	75円	75円	150円

- 1 2008年8月期末配当金は、2008年11月10日開催予定の当社取締役会での決議を前提としています。
- 2 業績や資金需要に大きな変動が生じた場合、配当金額を変更することがあります。

最後に、年間配当金についてご説明させていただきます。2008年8月期の期末配当金は1株あたり65円とし、年間で130円、とさせていただきます。

2009年8月期の配当金につきましては、中間75円、期末75円の年間150円を予定しております。

また、ご参考資料として、連結、及び国内ユニクロ事業の2009年8月期中間業績予想、ならびに、出退店の一覧表を添付しておりますので、ご参照ください。

なお、本日10月9日付け日経新聞朝刊にて「優先株発行を準備」の報道がございましたが、本日の当社の取締役会で「優先株の発行を可能にする定款変更」についての議案を審議した事実はございません。

以上で、私からのご説明を終わります。

ありがとうございました。

【連結】2009年8月期 中間業績予想

単位：億円

	2008年8月期	2009年9月期	
	中間実績	中間予想	前年同期比
売上高 (売上比)	3,164 100.0%	3,350 100.0%	+5.9%
売上総利益 (売上比)	1,569 49.6%	1,660 49.6%	+5.8% (0.0p)
販管費 (売上比)	1,026 32.4%	1,100 32.8%	+7.2% (+0.4p)
営業利益 (売上比)	542 17.2%	560 16.7%	+3.2% (0.4p)
経常利益 (売上比)	534 16.9%	560 16.7%	+4.8% (0.2p)
当期利益 (売上比)	286 9.1%	320 9.6%	+11.7% (+0.5p)



<ご参考>

【国内ユニクロ事業】2009年8月期 中間業績予想

単位：億円

	2008年8月期	2009年8月期	
	中間実績	中間予想	前年同期比
売上高 (売上比)	2,532 100.0%	2,650 100.0%	+ 4.6%
売上総利益 (売上比)	1,206 47.6%	1,261 47.6%	+ 4.5% 0.1p
販管費 (売上比)	700 27.7%	720 27.2%	+ 2.7% 0.5p
営業利益 (売上比)	505 20.0%	541 20.4%	+ 7.0% + 0.4p

株式会社ユニクロの数値を表示しています。

連結対象会社別出退店 実績・予想

【単位：店舗】	07年8月 期末	2008年8月期 通期 実績			2009年8月期 通期 予想				
		出店	退店	純増減	期末	出店	退店	純増減	期末
ユニクロ事業合計	787	77	51	+26	813	95	36	+59	872
国内ユニクロ事業:	748	59	48	+11	759	55	35	+20	779
直営店	730	56	46	+10	740	54	35	+19	759
大型店	28	22	0	+22	50	24	0	+24	74
標準店等	692	32	46	14	678	30	35	5	673
専門店	10	2	0	+2	12	0	0	+0	12
FC	18	3	2	+1	19	1	0	+1	20
海外ユニクロ事業:	39	18	3	+15	54	40	1	+39	93
中国	9	5	1	+4	13	20	0	+20	33
香港	4	4	0	+4	8	4	0	+4	12
韓国	14	6	2	+4	18	13	0	+13	31
シンガポール	-	-	-	-	-	2	0	+2	2
英国	11	2	0	+2	13	1	1	+0	13
米国	1	0	0	+	1	0	0	0	1
フランス	-	1	0	+1	1	0	0	+0	1
キャビン事業	211	11	32	21	190	39	15	24	214
ジーユー事業	50	12	4	+8	58	5	8	3	55
ワンゾーン事業	332	15	53	38	294	2	50	48	246
ビューカンパニー事業	-	5	6	1	105	3	7	4	101
コトワー・デ・コトニエ事業	305	48	5	+43	348	21	8	+13	361
プリンセス タム・タム事業	131	21	2	+19	150	12	0	+12	162
アスベジ事業	12	-	-	-	-	-	-	-	-
総合計	1,828	189	153	+36	1,958	177	124	+53	2,011